

イムノマックス-γ注 50 イムノマックス-γ注 100

【この薬は？】

販売名	イムノマックス-γ注 50 Imunomax-γ for Injection 50	イムノマックス-γ注 100 Imunomax-γ for Injection 100
一般名	インターフェロン ガンマ-1a (遺伝子組換え) Interferon Gamma-1a (Genetical Recombination)	
含有量 (1 瓶中)	50 万国内標準単位 (JRU)	100 万国内標準単位 (JRU)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、遺伝子組換え型インターフェロンガンマ製剤と呼ばれるグループに属する注射薬です。
- ・この薬は、がん細胞に直接的に作用して細胞が増えるのを抑えます。また、リンパ球に作用して体の免疫力を高めることで、免疫反応を介して間接的にがん細胞を攻撃します。さらに、ヒトマクロファージの活性酸素産生能を増加させて感染症状を軽減させます。
- ・次の病気の人に、医療機関で使用されます。
 1. 腎癌
 2. 慢性肉芽腫症に伴う重症感染の頻度と重篤度の軽減
 3. 菌状息肉症、セザリ-症候群

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にイムノマックス-γ注に含まれる成分または他のインターフェロン製剤に対し過敏な反応を経験したことがある人
 - ・過去にワクチンなどの生物学的製剤に対し過敏な反応を経験したことがある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・この薬を間欠使用または使用を一時中止し、再使用する場合
 - ・過去に薬物で過敏な反応を経験したことがある人
 - ・アレルギー素因のある人
 - ・心臓に障害のある人または過去に心臓に障害のあった人
 - ・肝臓または腎臓に重篤な障害のある人
 - ・高度の白血球減少または血小板減少のある人
 - ・精神神経障害のある人または過去に精神神経障害のあった人
 - ・自己免疫疾患の人またはその素因のある人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- この薬を使用したときに過敏な反応が出ないかを予測するために、プリック試験が行われることがあります。

【この薬の使い方は？】

この薬は注射薬です。

●使用量および回数など

使用量、使用回数、使用方法、使用期間などは、あなたの年齢、症状、体表面積（身長や体重から計算）などにあわせて、医師が決め、医療機関において注射されます。

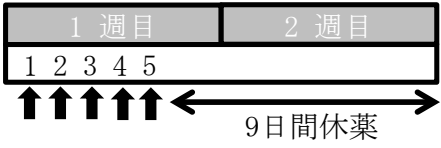
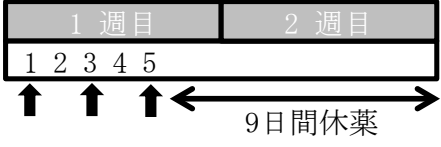
【腎がんの場合】

通常、成人の使用量および回数は、次の連日使用または間欠使用のどちらかのおりです。

【連日使用】

一日量	回数
200 万～300 万国内標準 単位/m ² （体表面積）	1 日 1 回、連日、点滴で静脈内に注射します。

【間欠使用】

一日量	回数
1000 万国内標準単位/m ² (体表面積)	<p>(2回繰り返します)</p>  <p>(2回以上繰り返します)</p> 

1日1回、連続5日間、点滴で静脈内に注射します。その後9日間休薬します。これを2回繰り返します。

その後、1日1回、隔日3回、点滴で静脈内に注射した後、9日間休薬します。これを2回以上繰り返します。

〔慢性肉芽腫症に伴う重症感染の頻度と重篤度の軽減の場合〕

通常、使用量および回数は次のとおりです。

一日量	回数
25 万国内標準単位/m ² (体表面積)	1日1回、1週間に1～3回、皮下に注射します。

〔菌状息肉症、セザリ一症候群の場合〕

通常、成人の使用量および回数は次のとおりです。

一日量	回数
200 万国内標準単位	1日1回、1週間に5回、点滴で静脈内に注射します。

- ・効果が不十分な場合には、1日1回400万国内標準単位まで増量されることがあります。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の使用により、間質性肺炎（から咳、呼吸困難など）、重篤なうつ状態（不眠、不安など）、自己免疫現象（肝炎、潰瘍性大腸炎の悪化など）があらわれることがあるので、患者さんはこれらの重大な副作用があらわれる可能性があることについて十分に理解できるまで説明を受けてください。
- ・咳（から咳など）、呼吸困難などの症状があらわれた場合には、ただちに医師に連絡してください。
- ・患者さんやその家族の方は、精神神経症状があらわれる可能性があることについて十分に理解できるまで説明を受け、不眠、不安などの症状があらわれた場合には、ただちに医師に連絡してください。
- ・この薬の使用により、一般に発熱があらわれます。高熱になることもあるので、そのような場合には医師に相談してください。

- ・骨髄機能の抑制（貧血、白血球減少、血小板減少）、肝臓の障害、腎臓の障害などがあらわれることがあるので、定期的に検査が行われます。異常を感じたら医師に相談してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳中の方は授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	発熱、から咳、息苦しい、息切れ
ショック	冷や汗、めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、血の気が引く、息切れ、判断力の低下
重篤なうつ状態 じゅうとくなうつじょうたい	やる気がおきない、気分がふさぎ込む、気分が落ち込む、不眠
急性腎不全 きゅうせいじんふぜん	からだがだるい、からだのむくみ、疲れやすい、意識の低下、頭痛、眼がはれぼったい、息苦しい、尿がでない、尿量が減る
心不全 しんふぜん	からだがだるい、全身のむくみ、横になるより座っている時に呼吸が楽になる、息苦しい、息切れ、動く時の動悸（どうき）
白血球減少 はっけつきゅうげんしょう	発熱、のどの痛み
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、皮下出血、出血が止まりにくい
汎血球減少 はんけつきゅうげんしょう	めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきの出血、息切れ、動悸（どうき）、あおあざができる、出血しやすい
自己免疫現象 じこめんえきげんしょう	[肝炎としてあらわれる場合] からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、皮膚が黄色くなる [潰瘍性大腸炎の悪化としてあらわれる場合] 発熱、腹痛、下痢、便に粘液や血液が混じる
糖尿病 とうりょうびょう	からだがだるい、体重が減る、のどの渇き、水を多く飲む、尿の量が増える

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、冷や汗、からだのだるい、からだのむくみ、疲れやすい、全身のむくみ、体重が減る
頭部	めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、意識の低下、頭痛
顔面	血の気が引く、鼻血
眼	眼がはれぼったい、白目が黄色くなる
耳	耳鳴り
口や喉	から咳、のどの痛み、歯ぐきの出血、吐き気、嘔吐（おうと）、のどの渇き、水を多く飲む
胸部	息苦しい、息切れ、横になるより座っている時に呼吸が楽になる、動く時の動悸（どうき）、動悸（どうき）、吐き気
腹部	食欲不振、吐き気、腹痛
皮膚	あおあざができる、皮下出血、皮膚が黄色くなる
便	下痢、便に粘液や血液が混じる
尿	尿がでない、尿量が減る、尿の量が増える
その他	判断力の低下、やる気がおきない、気分がふさぎ込む、気分が落ち込む、不眠、出血が止まりにくい、出血しやすい

【この薬の形は？】

販売名	イムノマックス-γ注50	イムノマックス-γ注100
性状	白色の軽質の塊または粉末	
形状	バイアル（ガラス瓶） 	バイアル（ガラス瓶） 

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	インターフェロン ガンマ-1a（遺伝子組換え）
添加物	L-システイン塩酸塩水和物、マルトース水和物、マクロゴール4000、リン酸二水素ナトリウム、リン酸水素ナトリウム水和物
添付の溶剤	日局注射用水

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：塩野義製薬株式会社

販売会社：共和薬品工業株式会社

([http:// www.kyowayakuhin. co. jp/](http://www.kyowayakuhin.co.jp/))

お問い合わせ窓口

フリーダイヤル：0120-041-189

受付時間：9時～17時45分

(土、日、祝日、その他当社の休業日を除く)

プロモーション提携：共和クリティケア株式会社

([http://www.kyowacriticare. co. jp/](http://www.kyowacriticare.co.jp/))

学術情報課

フリーダイヤル：0120-265-321

受付時間：9時～17時

(土、日、祝日、その他当社の休業日を除く)